

安倍政権の危険な暴走を許すな!

普天間移設問題の焦点となる名護市長選挙が迫る!

稲嶺進候補：新たな基地をつくらせない!



日本中が大きな注目をしている沖縄県名護市市長選挙が1月12日に告示され19日に投開票が行われます。安倍内閣は昨年、国家安全保障会議設置法案や特定秘密保護法案を強行採決し、日本を「戦争する国」へと突き進めています。さらに安倍首相と沖縄県仲井真知事が会談し、知事はアメと圧力に屈して県外移設の公約を破り、さら

に沖縄県民の思いと名護市の意見書を無視して、普天間基地の移設候補地である辺野古地区の海の埋め立てについて許可しました。

辺野古は沖縄県名護市にあり、今回埋め立てを許可した地域は、絶滅危惧ⅠA類のジュゴンが生息し、生物学的に貴重な地域である。また、絶滅危惧種であるアオサンゴの大規模な群集も発見されており、非常に自然が豊かで綺麗な海です。しかし、私たちの命や自然環境より人を殺し合う戦争のための施設・基地を優先する日本の社会でいいのでしょうか？私たちがこれからも人間らしく当たり前に生きていける世の中を創っていくために、今回の選挙は他人事ではありません。市民・国民の命を守るために新基地建設をさせないために稲嶺進候補（現市長）は奮闘されています！



市民の命よりお金で解決させる自民党幹事長発言は許さない!!

自民党の石破茂幹事長は16日名護市の3カ所で街頭演説し、末松候補の公約実現のため500億円の「名護振興基金」を創設する構想を表明。「この地域に一定の抑止力は必要だ」と辺野古移設への理解を求めながら、沖縄基地負担を軽減する方針も強調した。今の政府は「私たち国民の命を守らない」という事です。